

アーツカウンシル東京

平成27年度 東京芸術文化創造発信助成 第I期 対象事業決定のお知らせ

アーツカウンシル東京(公益財団法人東京都歴史文化財団)では、世界的な芸術文化都市東京として、芸術文化の創造・発信を推進し、東京の魅力を高める多様な事業を展開しています。

このたび、アーツカウンシル東京の芸術文化支援事業の一つ、平成27年度 東京芸術文化創造発信助成 第I期の対象事業を決定いたしました。この助成プログラムは、東京の都市魅力の向上に寄与する多様な創造活動とその担い手を支援するため、東京を拠点とする芸術団体等に対して活動経費の一部を支援するものです。

今期は長期助成 30 件、単年助成 182 件の申請があり、アーツカウンシル東京での厳正な審査の結果、**長期助成 7 件、単年助成 62 件を採択**いたしました(長期助成採択率 23.3%、単年助成採択率 34.1%)。なお、**長期助成予定総額(3年間)4,850 万円、単年助成予定総額 7,341 万円**となります。

■ 平成27年度 第I期助成 申請・採択件数

【長期助成プログラム】

【単年助成プログラム】第I期

区分 分野	申請件数	採択件数
	音楽	2
演劇	8	1
舞踊	7	2
美術・映像	3	1
伝統芸能	1	1
複合・他	9	1
合計	30	7

公演・展示等		国際芸術交流		創造環境向上		申請件数	採択件数
申請	採択	申請	採択	申請	採択		
21	8	11	0	1	0	33	8
39	6	10	6	1	1	50	13
10	4	7	3	4	1	21	8
19	5	11	4	3	3	33	12
7	5	10	4	0	0	17	9
15	6	9	5	4	1	28	12
111	34	58	22	13	6	182	62

- ・長期助成対象期間 :平成27年4月1日以降に開始し、平成29年3月31日までに終了する活動(2年間)又は平成27年4月1日以降に開始し、平成30年3月31日までに終了する活動(3年間)
- ・単年助成対象期間 :平成27年4月1日以降に開始し、平成28年3月31日までに終了する活動

■ 平成27年度【長期助成プログラム】採択事業 一覧 申請30件、採択7件

活動分野	活動内容	申請団体名	特定非営利活動法人MultipleTap
音楽	プロジェクト支援	プロジェクト・活動名	東京ノイズ拠点化プロジェクト
		実施予定年数	3年
		申請活動の概要	MultipleTapは、国内外で活躍するノイズ音楽、即興演奏等のミュージシャンとアーティストの団体で、2013年に活動を開始し2014年に特定非営利活動法人化した。ギタリストの康勝栄が代表を務める。1年目に中国とヨーロッパ、2年目に北米とカナダでツアーを行い、3年目には都心での路上ライブを計画している。並行して、秩父での商店街まちおこしのイベント「4D」(1、2年目)、ノイズを活かした自閉症児童の自己表現活動の促進(2年目)により社会貢献も目指す。発信活動としては、MultipleTapの活動を記録したドキュメンタリーを映画祭で上映(1年目)し、WEB運営により世界のノイズ、メディアアート等の情報や音源の発信(2年日以降)を行う。

活動分野	活動内容	申請団体名	特定非営利活動法人シアター・アクセシビリティ・ネットワーク
演劇	芸術創造環境支援	プロジェクト・活動名	演劇・舞台などにおける観劇サポート推進事業
		実施予定年数	3年
		申請活動の概要	特定非営利活動法人シアター・アクセシビリティ・ネットワークは「みんなで一緒に舞台を楽しもう」を合言葉に、当事者自身が主体となって視聴覚や肢体等に障害のある人々の観劇支援を行う中間支援組織。「日本ろう者劇団」等で長らく俳優・制作者として活躍してきた廣川麻子が、ロンドンで1年間、芸術アクセシビリティ支援の先進事例を学んだ経験を生かし、2012年に設立した。申請内容は①観劇サポート(手話通訳、字幕、音声ガイド等)の導入を希望する劇場・芸術団体等への機材提供や人材派遣、②舞台活動を行う聴覚障害のある演劇人への手話通訳派遣の二つ。最終的に3年間の実績を検証し、より良い観劇支援を公的に制度化するための提言を行う。

活動分野	活動内容	申請団体名	Office A/LB
舞踊	プロジェクト支援	プロジェクト・活動名	クロス/トランジット プロジェクト(仮タイトル)
		実施予定年数	3年
		申請活動の概要	コンテンポラリーダンスの振付家・ダンサーの北村明子が、カンボジアとミャンマーの舞踊、音楽を中心とする地域に根差した文化の調査を行い、ワークインプログレスのショーイングから本公演までを3年をかけて創り上げるプロジェクト。インドネシアとの4年間に渡る共同製作プロジェクトを遂行し、インドネシア武術も長らく学んでいる北村が、新たな取り組みとしてカンボジア、ミャンマーの各地域の古来の武術の身体技法とその芸術性、儀礼性、音楽との関わりを探り、アジアの視点を含めた舞踊語彙を新たに拡張する事を試みる。

活動分野	活動内容	申請団体名	Dance New Air 実行委員会
舞踊	プロジェクト支援	プロジェクト・活動名	Dance New Air
		実施予定年数	2年
		申請活動の概要	表参道にあるスパイラルホールを中心に2年に1度行われる国際的なコンテンポラリーダンスのフェスティバル。2016年9月～10月に開催(予定)。期間中は公演プログラムの他、屋外パフォーマンス、ダンスワークショップ、ダンス映像作品の特集上映などが実施される他、開催の前年には、作品制作に向けて海外のアーティストとの滞在型の交流や、観客と評論家育成の為のプログラム、東京の街中を舞台としたサイトスペシフィックな作品の発表などを予定している。

活動分野	活動内容	申請団体名	チャーム・ポイント
美術・映像	プロジェクト支援	プロジェクト・活動名	音から作る映画の展開と完成・公開
		実施予定年数	3年
		申請活動の概要	チャーム・ポイントは、映画監督の七里圭氏が代表を務める多ジャンルのクリエイター集団。申請事業は、映画制作の通常のプロセスを逆転して音(サウンド・トラック)から作り始めることで、映画という表現形式に組み込まれた他ジャンルの要素と映画を比較・検証する実験的プロジェクト。これまで2年間の「音から作る映画」プロジェクトを発展させ、身体表現や現代アートと構成する作品を制作し、海外展開を行う。また、公開講座やワークショップを開催して議論の場を設ける。

活動分野	活動内容	申請団体名	一般社団法人 伶楽舎
伝統芸能	プロジェクト支援	プロジェクト・活動名	伶楽舎・子どものための雅楽プロジェクト
		実施予定年数	3年
		申請活動の概要	一般社団法人伶楽舎は1985年発足の雅楽団体。古典雅楽の演奏、廃絶曲の復曲、現代作曲家への新作委嘱、子供や初心者への紹介活動を通じて、現代における雅楽の普及に多大な貢献を果たしてきた。本企画は子どもが雅楽に親しめるプログラムや作品を作り上げることを目的とし、教育現場でのリサーチに基づき、子どもための雅楽コンサートを開催すると共にCD・DVDを作成して市販及び都内図書館に寄贈。さらに様々な編成による子どものための新作雅楽作品を複数の作曲家に委嘱する。

活動分野	活動内容	申請団体名	てんらい
複合・その他	プロジェクト支援	プロジェクト・活動名	『イナンナの冥界下り』欧州公演
		実施予定年数	3年
		申請活動の概要	てんらいは能楽師、安田登が主宰する企画・上演団体で、本事業は世界最古の神話とされるシュメール神話から、「イナンナの冥界下り」をシュメール語と能楽を軸に段階的に創作、上演するもの。能楽、等身大の人形、ベリーダンス、浪曲の語り、能管、竝琴、コロスに加え、音楽、衣装、美術には先端表現を取り入れた創作を行い、3年目に英、仏、リトアニアでの上演を予定。都内で定期的にワークショップと小公演を行って創作過程を一般に公開するほか、ウェブサイトで国内外に広範な情報を提供する等、伝統芸能の特質を新たな視点から発信することを目指す。

■ 平成 27 年度【単年助成プログラム】第 I 期 採択事業 一覧

申請 182 件、採択 62 件

活動分野	活動内容	実施場所	団体/個人	申請者名	申請活動名			
音楽	公演	都内	団体	東京現音計画	東京現音計画#05:コンポーザーズセレクション3～稲森安太己			
				公益財団法人サントリー芸術財団	作曲家の個展2015—原田敬子			
				空間現代	空間現代 Collaborations			
				サンガツ	サンガツ公演・ワークショップin SHIBAURA HOUSE			
				国際芸術交流	海外	団体	インターナショナル・オルガン・フェスティバル・イン・ジャパン組織委員会	第25回「インターナショナル・オルガン・フェスティバル・イン・ジャパン」2015
				会田瑞樹パーカッションリサイタル2015実行委員会	会田瑞樹パーカッションリサイタル2015の開催			
				公益社団法人日本演奏連盟	公益社団法人日本演奏連盟創立50周年記念事業<演奏家と邦人作曲家シリーズ>			
				任意団体 Ftarrri	FTARRI FESTIVAL 2015			
演劇	公演	都内	団体	岡崎藝術座	島と似非芸術家(仮)			
				篠田千明	非劇(仮)			
				サンプル	サンプル「三角関係(仮)」			
				サインアートプロジェクト・アジア	サインアートプロジェクト・アジア創立10周年記念公演「残夏-1945-」			
				範宙遊泳	範宙遊泳3都市ツアー『幼女Xの人生で一番楽しい数時間』東京公演			
				劇団子供鉦人	真昼のジョージ			
				有限会社 プーク人形劇場	プーク人形劇場企画 欧州国際交流事業			
	国際芸術交流	海外	団体	チェルフィッチュ	チェルフィッチュ『スーパープレミアムソフトWバニラリッチ』北欧3都市・パリツアー			
				開幕ペナントレース	1969:A Space Odyssey? Oddity!			
				有限会社アゴラ企画	青年団『冒険王』『新・冒険王』ソウル公演			
				江戸系あやつり人形座	江戸系あやつり人形座 欧州・フェスティバル参加・文化交流公演			
				合同会社 マームとジブシー	マームとジブシーイタリア滞在製作「タイトル未定・新作」			
				創造環境向上	都内	団体	国際演劇評論家協会日本センター	震災と演劇—断たれた日常をつなぐ

活動分野	活動内容	実施場所	団体/個人	申請者名	申請活動名		
舞踊	公演	都内	団体	団体せきかおり	関かおりPUNCTUMUN公演(タイトル未定)		
				公益財団法人アルカンシエール美術財団 原美術館	島地 保武×アマンシオ・ゴンザレス×ジョシュ・ジョンソン 公演(仮題)		
				SHIBAURA HOUSE	SHIBAURA HOUSEを拠点としたダンスカンパニー「ポートシバウラ」の結成とダンス公演		
				有限会社 カラス	カラス・アパラタス「アップデートダンス」シリーズ公演		
	国際芸術交流	海外		Ko&Edge Co.	「Nijinski a minuit-真夜中のニジンスキー」国際協働制作		
		都内/海外		BATIK	レパートリー作品「落ち合っている」スリランカ公演(仮称)		
	創造環境向上	都内		株式会社アンクリエイティブ	国際共同制作「SOMAプロジェクト」		
美術・映像	展示・アートプロジェクト	都内	団体	桑田卓郎展実行委員会	桑田卓郎展		
				バシェ協会	バシェ音響彫刻の修復と活用		
				映画『島の女たち(仮)』製作プロジェクト実行委員会	映画『島の女たち(仮)』製作プロジェクト		
				津田直縄文プロジェクト実行委員会	津田直縄文プロジェクト		
	国際芸術交流	都内/海外		株式会社コンパス	「伝説のモデル 山口小夜子を探して」(仮)		
		都内		株式会社テレビマンユニオン	「あえかなる部屋 内藤礼と、光たち」		
				活動写真実演会	日欧における活動写真文化の普及事業		
	創造環境向上	都内		個人	オールピスト東京 実行委員会	オールピスト東京2015	
					海外	岸野 雄一	「正しい数の数え方」製作委員会
					団体	視覚障害者をつくる美術鑑賞ワークショップ	視覚障害者をつくる美術鑑賞ワークショップ
						ARTISTS' GUILD	ARTISTS' GUILD
ドキュメンタリー・イン・プログレス実行委員会	ドキュメンタリー・イン・プログレス						
伝統芸能	公演	都内	団体	株式会社 米川敏子音楽事務所	研箏会創立百周年記念特別演奏会		
				飛鳥山薪能実行委員会	第十三回飛鳥山薪能公演 及び 山形・黒川能・飛鳥山薪能公演		
				代々木果廻会	代々木果廻会別会「一之輔落語×竹灯籠能『狸々乱』」		
				一般社団法人 もんてん	放浪の系譜…警女唄とアジアの遊行文化		
	国際芸術交流	海外	団体	藤本昭子	第75回「藤本昭子 地歌ライブ」四季の地歌箏曲 ～秋～ なきひとをしるぶ		
				株式会社万作の会	万作の会 狂言 ニューヨーク公演		
				一般社団法人 日本伝統芸術国際交流協会	さくらこまち和楽団・イタリア公演2015		
		都内/海外	個人	株式会社 藤間オフィス	日ブラジル修好120周年記念 藤間勘十郎ブラジル公演		
複合・その他	公演	都内	団体	乙津理風	NEO SHIGIN PROJECT ～Japanese voice and spirit～		
				スロームーブメント実行委員会	スロームーブメント		
				株式会社オフィス・アンフィニ	OPERA “q”		
				一般社団法人 向源	寺社フェス 向源		
			特定非営利活動法人 国際舞台芸術交流センター	サウンド・ライブ・トーキョー			

活動分野	活動内容	実施場所	団体/個人	申請者名	申請活動名
複合・その他	展示・アートプロジェクト	都内	団体	Interdisciplinary Art Festival Tokyo	Interdisciplinary Art Festival Tokyo 2015
				一般社団法人谷中のおかって	こども創作教室 ぐるぐるミックス
				core of bells	core of bells
	国際芸術交流	海外		リクウズルーム	『玩笑』(仮) 台北公演
				公益財団法人 梅若会	「ネキア(ホメロス『オデュッセイア』第11歌より)」(仮題)
		都内		第8回世界俳句協会大会実行委員会	第8回世界俳句協会大会
	創造環境向上	都内/海外		NPO法人芸術公社	レクチャーパフォーマンス・シリーズ「今、私たちの隣に誰がいるのか？」(仮)
				舞台芸術制作者オープンネットワーク	舞台芸術制作者オープンネットワーク(ON-PAM)による創造環境整備事業

■ 採択結果の概況

今期より、長期助成および単年助成の対象となる活動内容：東京の芸術環境の向上に資する活動・プロジェクトについては、補助率を助成対象経費の2分の1以内から3分の2以内に改定しました。単年助成では、美術・映像分野と伝統芸能分野で個人での申請を受付開始しました。その結果、申請件数が長期助成(前年比63%増)、単年助成182件(前年比25%増)と大幅に増加しました。

以下に、今期の採択結果をまとめました。

【長期助成プログラム】

長期助成は申請件数30件のうち、第一次審査、第二次審査(面接)を経て7件が採択となりました。演劇分野では、障害者等の鑑賞環境の向上を目指す案件が採択されたほか、音楽、舞踊、美術・映像分野では、単年助成での支援実績がある団体が採択となりました。また、伝統芸能分野は教育普及の案件、複合・その他分野では当助成の審査基準である独創性が評価されたコラボレーション案件が採択となりました。

【単年助成プログラム】第I期

● 音楽分野

音楽分野では、当助成プログラムに初めて申請する団体が約7割を数え、申請件数も7割程度増加しています。オペラや室内楽などの西洋クラシック音楽及び現代音楽が約半数を占めますが、今回は他に、即興音楽やノイズ、実験的なバンドや先端的表現を追求するグループからの申請が目立ちました。フェスティバルやシリーズ公演についてはテーマ性の高いものが多く、企画力に加えて具体性と実践力を総合的に判断しました。活動実績の豊富な申請団体も多く、当助成の基本方針である「各ステージにおける助成方針」に照らし慎重に検討しました。

● 演劇分野

演劇分野の申請件数50件(内1件取下げ)の内訳は、劇団やユニットからの申請が多数を占め、その他に実行委員会形式での申請3件、民間劇場からの申請2件、中間団体1件となっており、企画制作会社によるプロデュース公演の申請は減少しました。ジャンルはいわゆる小劇場演劇を中心に、新劇、アンガラ、児童演劇、人形劇、手話劇等、多岐に渡っています。審査においては当助成の基本方針である「各ステージにおける助成方針」に則り、活動基盤形成期(若手)または活動拡大・発展期(中堅)にあり、かつ審査基準に照らして高い評価を得た団体からの申請を優先しました。活動成熟・トップ期(ベテラン)にある団体からも多数申請がありましたが、国際的な活動あるいは人材育成の要素のあるものが採択となっています。また複合分野への申請も含め、舞台芸術の創造環境整備や人材育成に資する活動が増加傾向にあり、活動の意義と団体の実績を総合的に判断し採択しています。

● 舞踊分野

舞踊分野では、当助成プログラムに初めて申請する団体が4割を占め、コンテンポラリーダンス、舞踏、モダンダンス、ストリートダンスの他、舞踊と他ジャンルの融合をはかる企画がみられました。若手団体からの申請件数が伸び悩み、劇場・スペースやNPOなど中間支援組織からの申請が若干増加傾向にあります。その他、海外の劇場との共同制作公演や、障害を持つアーティストを含む多様なクリエイターによる市民参加型のパフォーマンスなど、独創的な活動の芽生えもありました。審査基準と当助成の基本方針である「各ステージにおける助成方針」に則り、慎重に審査を行いました。

● 美術・映像分野

美術・映像分野では、今期から個人での申請を受付開始したこともあり、申請件数がこれまでの倍程度に増加しました。個人申請には、海外のフェスティバル等への参加のために申請をする例が見られ、今後も個人からの意欲的な申請が期待されます。また、新たな傾向として、科学やテクノロジーを取り入れてプロジェクトを展開する企画がいくつか見られました。多彩で充実した申請が多い中で、実績や実現性を考慮しながら、実験的な新しい試みにも注目し、採択としています。

● 伝統芸能分野

伝統芸能分野の特徴は、伝統芸能と他分野との創造型コラボレーションが減少し、古典の本筋を踏まえつつ、しかも新規観客層の開拓を目指すものが増加しています。内容的に優れた申請が多く採択率が高くなっています。審査に当たっては、申請活動の中味と同時にその影響力や申請団体の将来性・適時性も考慮して、当助成の審査基準である継承性(伝統芸能の場合)に照らして慎重に検討しました。

● 複合・その他分野

複合・その他分野の今期の傾向は、学術的なシンポジウムや展覧会、コミュニティ・アートプロジェクトが目立ったほか、コラボレーションとして科学技術や感性工学、あるいは建築、文学など、今までの申請にはみられなかった分野やジャンルを超えたプログラムからの申請が特徴的でした。なお、採択については申請内容より、音楽、演劇、舞踊、美術・映像、伝統芸能の主たる分野に振り分けて、審査基準と当助成の基本方針である「各ステージにおける助成方針」に則り、慎重に審査を行いました。

<参考> 平成 27 年度 採択事業の傾向

当助成プログラムは、助成の基本方針である「各ステージにおける助成方針」に則り、若手(①活動基盤形成期)及び中堅(②活動拡大・発展期)にあると思われる芸術団体等への助成を優先しています。音楽、演劇、舞踊、美術・映像等の分野の活動内容:公演・展示等について、3つのステージ(①活動基盤形成期、②活動拡大・発展期、③活動熟成・トップ期)に振り分けた際の採択状況は以下ようになります。(※その他は、3つのステージに振り分けられないもの、フェスティバルや地域のアートプロジェクト、若手からベテランまでの複合的な申請案件です。)伝統芸能分野は内容的に優れた申請が多く採択率が高くなっています。

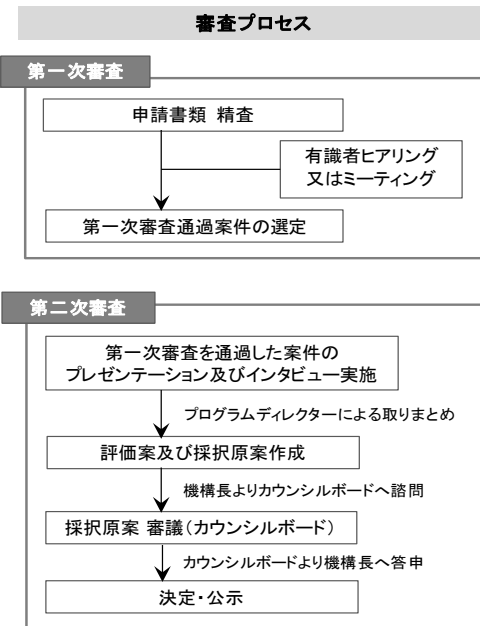
	①活動基盤形成期	②活動拡大・発展期	③活動熟成・トップ期	その他
申請件数	31	34	34	50
採択件数	13	10	7	17
採択率(%)	41.9	29.4	20.6	34.0

	伝統芸能	創造環境整備・支援
申請件数	14	32
採択件数	11	11
採択率(%)	78.6	34.4

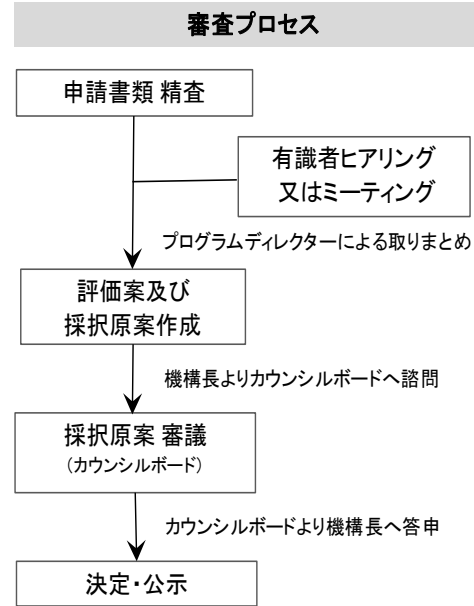
■ 採択方法と審査プロセス

以下の審査プロセスで、採択を決定しています。

【長期助成プログラム】



【単年助成プログラム】第Ⅰ期



【事業に関するお問い合わせ】

公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京 企画室 企画助成課 石綿

TEL: 03-6240-2292、FAX: 03-6240-2294

※平成 27 年 6 月 1 日以降のお問い合わせ先 TEL: 03-6256-8431、FAX: 03-6256-8828

E-mail josei@artscouncil-tokyo.jp



<本リリースに関するお問い合わせ>

公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京 広報担当: 森 (隆)・浅野

TEL: 03-5638-8805 ※平成 27 年 6 月 1 日以降のお問い合わせ先: 03-6256-8432

E-mail: press@artscouncil-tokyo.jp

<http://www.artscouncil-tokyo.jp/>

※アーツカウンシル東京と東京文化発信プロジェクト室は、平成 27 年 4 月 1 日より事業を再編し、組織統合しました。